

ご 注 意

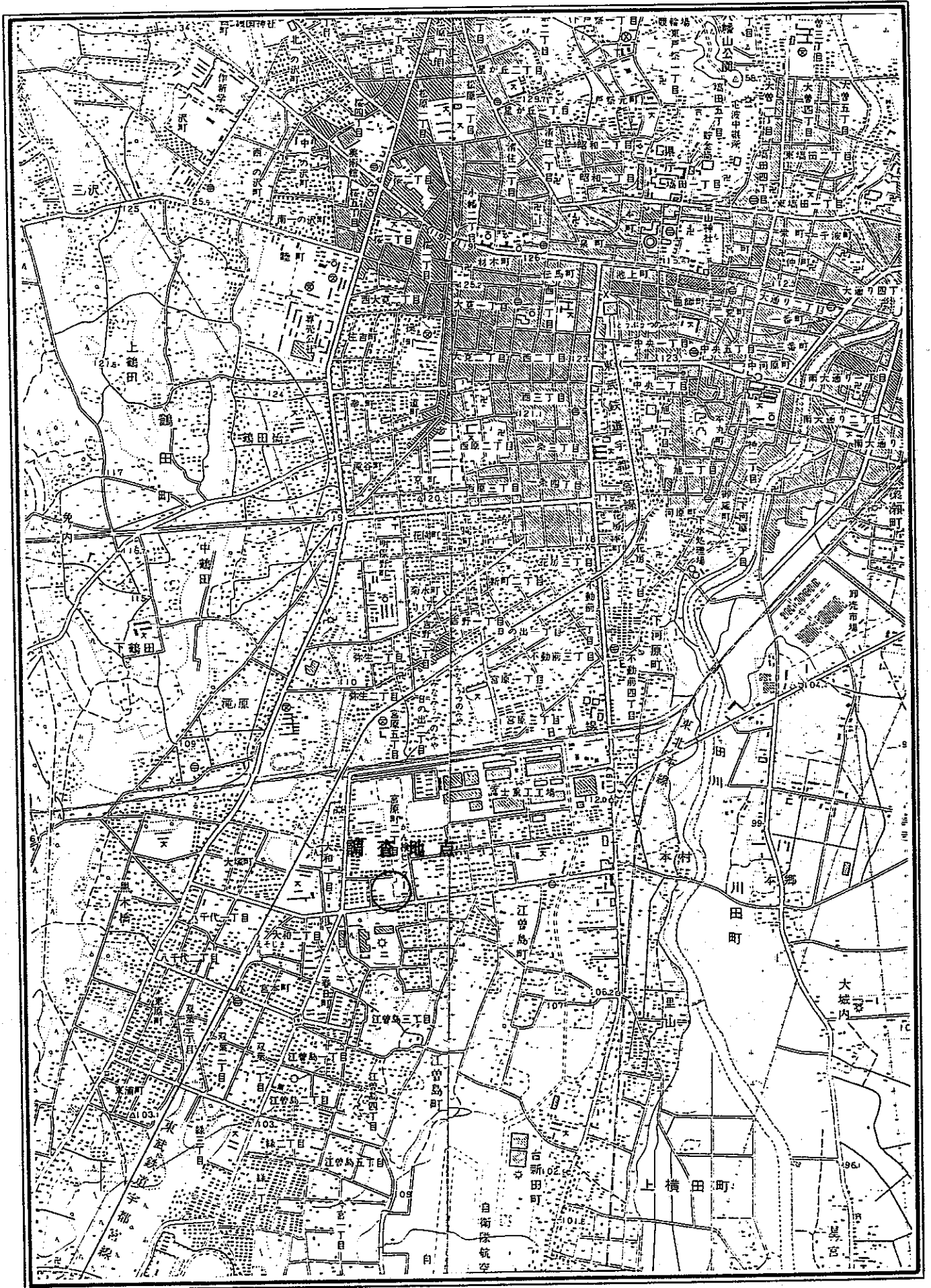
地盤の許容応力度及び基礎杭の許容支持力は、国土交通大臣の定める方法によって地盤調査を行い、その結果に基づき定めなければならないと規定されています。(建築基準法施行令第93条)

地盤構成並びに各地層の性状は、場所ごとに千差万別であることから、敷地（状況においてはその周辺も含めて）の地盤調査によって地盤構成等を的確に把握し、その結果に基づいて建物をどの地層に支持させるかを決定する必要があります。

したがって、本資料は計画段階における参考資料としてご活用ください。

栃木県土木部建築課

調査位置図 縮尺 1:25000



土質柱状図 報告用紙

調査名 栃木県橋センター(仮称)新築工事に伴う地質調査
 調査場所 栃木県橋センター(仮称)新築工事に伴う地質調査
 標高 99.52 m
 調査年月日 58年6月 日 ~ 58年6月 日
 標準貫入試験用サンプラー

標尺 m	標高 m	深さ m	層厚 m	現場観察記録		色調	記録	標準貫入試験				試料採取			
				土質記号	土質名			深さ m	打撃回数	10cmごとの打撃回数	N	値	試料番号	深さ m	採取方法
1	99.12	0.40	0.40	表土(シルト)	黒褐	上部砕石含む 堅い 上部やや堅い 均質 下部軽石散在する		4	1	1	2	1	1.15	1	採取方法
2	97.62	1.90	1.50	ローム	茶褐			30	10	10	10	2	1.45	2	
3	96.62	2.80	1.00	軽石	黄褐	約2~8%の軽石粒主体 柔らかい 風化する		2	1	1	1	3	2.15	3	
4	94.92	4.60	1.70	ローム	茶褐	全体に柔らかい 含水大 4m付近より砂分混入		35	25	10	10	4	3.50	4	
5								4	1	1	2	5	4.15	5	
6								33	10	10	13	6	4.48	6	
7								48	15	17	16	7	5.15	7	
8								30	10	10	10	8	5.45	8	
9								50	15	15	20	9	6.15	9	
10	89.52	10.00 (5.4)						30	10	10	10	10	6.45	10	
11								50	15	19	16	11	7.15	11	
								29	10	10	9	12	7.44	12	
								50	27	23	9	13	8.15	13	
								19	10	9	9	14	8.84	14	
								38	11	13	14	15	9.15	15	
								30	10	10	10	16	9.45	16	
								50	17	33	9	17	10.15	17	
								19	10	9	9	18	10.34	18	

標準貫入試験用サンプラー

● シンクウォールサンプラー ○ 貫入試験用サンプラー × その他

土質柱状図 報告用紙

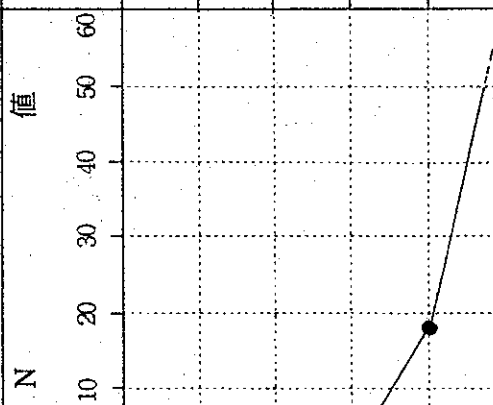
KBMを10000mとする。

調査名 栃木県庁センター(仮称)建設に伴う地質調査
ボーリング孔: No. 2孔(調査深度1000m)

標準貫入試験 調査年月日 58年6月 日
9968 m 調査担当者
GL-5.20 m

1958年6月 日

標尺 m	標高 m	深さ m	層厚 m	現場観察記録		標準貫入試験		採取方法						
				土質記号	土質名	色調	記事		深さ m	打撃回数 / 貫入量 cm	10cmごとの打撃回数	試験値	試験料採取	
1	99.28	0.40	0.40	表土(シルト)	黒	腐植物混入	4 30	1 10	2 15	1 5	1	1.15 1.45	1	1.15 1.45
2	97.98	1.70	1.30	ローム	茶褐	火山灰質粘性土 柔らかい均質	2 40	1 20	1 20		2	2.15 2.55	2	2.15 2.55
3	96.78	2.90	1.20	軽石	黄褐	約2~3%の軽石粒主体 柔らかい	2 45	1 25	1 20		3	3.15 3.60	3	3.15 3.60
4	95.28	4.40	1.50	ローム	茶褐	火山灰質粘性土 柔らかい 3.7m付近堅い	18 30	8 10	2 10	8 10	4	4.15 4.45	4	4.15 4.45
5				砂礫	灰褐	約10~40%の重円礫主体 締まる Maxの60%の礫あり 密に締まっている	50 26	21 10	18 10	11 6	5	5.15 5.41	5	5.15 5.41
6	98.18	6.50	2.10	砂	灰褐	粗粒砂主体でゆるい	50 10	50 10			6	6.15 6.25	6	6.15 6.25
7	92.68	7.00	0.50	砂	灰褐	粗粒砂主体でゆるい	50 28	15 10	28 10	12 3	7	7.15 7.88	7	7.15 7.88
8				砂礫	灰褐	密に締まっている マトリックスは粗砂により 充填される	50 24	19 10	22 10	9 4	8	8.15 8.89	8	8.15 8.89
9				砂礫	灰褐	玉石径100%前後を点在 する	50 21	20 10	24 10	6 1	9	9.15 9.36	9	9.15 9.36
10	89.68	10.00	(8.0)				50 25	18 10	21 10	11 5	10	10.15 10.40	10	10.15 10.40



備考:

試験採取方法の記号

● シンワキールサンプル ○ 貫入試験用サンプル × その他

土質柱状図 報告用紙

調査名 栃木県庁センター（仮称）新築工事に伴う地質調査

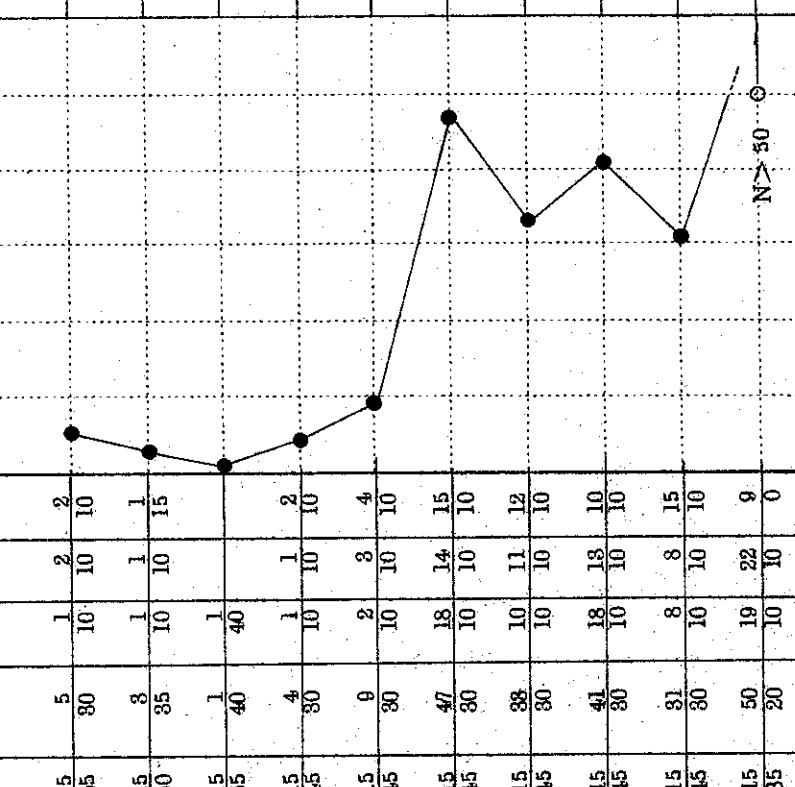
標準高 KBMを10000mとする。

9.9.6.9 m

調査年月日 58年6月 日～58年6月 日

ボーリング孔：№ 4孔（調査深度11.00m） 孔内水位 GL-6.00m 調査担当者

標尺 m	標高 m	深さ m	層厚 m	現場観察記録		標準貫入試験		採取方法						
				土質記号	土質名	色調	記事		深さ m	打撃回数	10cmごとの打撃回数	N	値	試料採取
1	98.09	0.60	0.60	⊗	表土(シルト)	黒	上部植物根含む	5 30	1 10	2 10	2 10	1	1.15 1.45	採取方法
2	97.49	2.20	1.60	~~~~~	ローム	茶褐	均質, やや堅い	3 35	1 10	1 15	2.15 2.50	2	2.15 2.50	
3	98.29	8.40	1.20	△△△△	軽石	黄褐	φ2~8%の軽石粒主体 風化をうけ柔らかい	1 40	1 40	1	8.15 8.55	3	8.15 8.55	
4				~~~~~	ローム	茶褐	均質 やや柔らかい 下部砂分多い	4 30	1 10	1 10	4.15 4.45	4	4.15 4.45	
5	94.69	5.00	1.60	~~~~~				9 30	2 10	3 10	5.15 5.45	5	5.15 5.45	
6	93.89	5.80	0.80	●●●●	砂	灰茶褐	細砂主体 ゆるい	47 30	18 10	14 10	6.15 6.45	6	6.15 6.45	
7				○●●●			φ10~50%主体 Max.100%の玉石点在	38 30	10 10	11 10	7.15 7.45	7	7.15 7.45	
8				○●●●			礫は安山岩質で弱風化される	41 30	18 10	13 10	8.15 8.45	8	8.15 8.45	
9				○●●●	砂礫	灰褐	部分的に砂分の多い所あり	31 30	8 10	8 10	9.15 9.45	9	9.15 9.45	
10				○●●●			全体的に締っている	50 20	19 10	22 10	10.15 10.35	10	10.15 10.35	
11	88.69	11.00	(5.2)	○●●●				50 24	20 10	21 10	11.15 11.39	11	11.15 11.39	



試料採取方法の記号

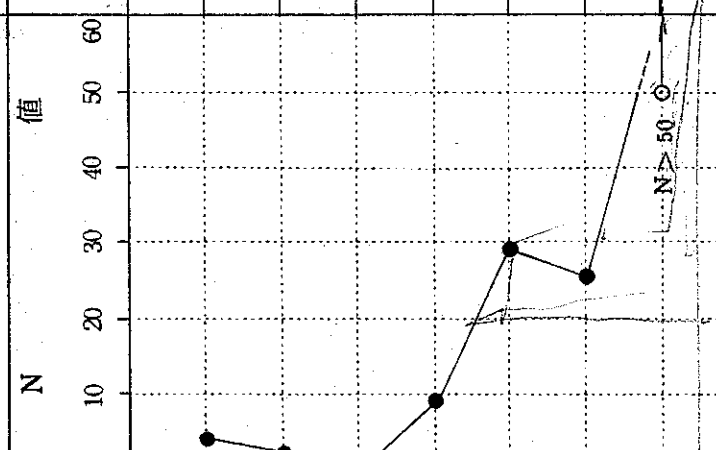
備考:

● シンワールサンプラー ○ 貫入試験用サンプラー × その他

土質柱状図 報告用紙

調査名 栃木県橋センター（仮称）新築工事に伴う 橋標高 99.57 m 調査年月日 58年6月 日～58年6月 日
 ボーリング孔：No. 6孔（調査深度 9.00 m） 孔内水位 GL-6.00 m 調査担当者

標尺 m	標高 m	深さ m	層厚 m	現場観察		記録	標準貫入試験				試料採取				
				土質記号	土質名		色調	記事	深さ m	打撃回数		10cmごとの打撃回数	N	試料番号	深さ m
1	98.97	0.60	0.60	表土(シルト)	黒	黒	堅いシルト土である	4	1	2	1.15	1	1.15	1	標準貫入試験用サンプ
2	97.69	1.90	1.30	ローム	茶褐	茶褐	関東ローム層 中位のコンクリート 下部軽石を散在	2	1	15	1.50	1	2.15	2	標準貫入試験用サンプ
3	96.47	8.10	1.20	軽石	黄褐	黄褐	鹿沼軽石層である 非常に軟弱	0	0	(自注)	8.15	0	8.15	3	標準貫入試験用サンプ
4	95.17	4.40	1.30	ローム	茶褐	茶褐	非常に柔らかい 下部砂分を混入する	9	3	6	4.15	3	4.15	4	標準貫入試験用サンプ
5							礫径 10~50%が主体	29	7	10	5.15	7	5.15	5	標準貫入試験用サンプ
6							深度 7m 付近まで粗粒砂 が多く混入されている	25	10	10	6.15	10	6.15	6	標準貫入試験用サンプ
7						灰褐	所々に玉石径 100%前後 を点在している	50	20	10	7.15	20	7.15	7	標準貫入試験用サンプ
8							全体に密に締っている	50	16	14	8.15	16	8.15	8	標準貫入試験用サンプ
9	90.57	9.00 (4.6)						50	16	15	9.15	16	9.15	9	標準貫入試験用サンプ



備考： 試験採取方法の記号 ● シンワールサンプラー ○ 貫入試験用サンプラー × その他

土 質 柱 状 図

報 告 用 紙

調査名・調査地点 栃木県庁センター(仮称)新築工事に伴う地質調査 標 高 99.74m 調査年月日 58年6月 日 ~ 58年6月 日
 ボーリング孔: No. 3孔(調査深度100.0m) 孔内水位 GL-6.00m 調査担当者 _____
 KBMを10000mとする。

標 尺 m	標 高 m	深 さ m	層 厚 m	現 場 観 察 記 録			標 準 貫 入 試 験					試 料 採 取								
				土質記号	土質名	色 調	記 事	深 さ m	打撃回数 貫入量 cm	10cmごとの 打撃回数			N 値					試料番号	深 さ m	採取方法
							10 cm	20 cm	30 cm	0	10	20	30	40	50	60				
	99.14	0.60	0.60	表土(シルト)	黒	全体に堅いシルト														
1				ローム	茶 褐	中位~やや堅い 関東ローム層である 1.6mより軽石散在	1.15	5	1	2	2						1	1.15		
2	97.74	2.00	1.40				1.45	30	10	10	10						2	2.15		
3	96.64	8.10	1.10	軽石	黄 褐	鹿沼軽石層である 非常に軟弱である	2.15	2	1	1							3	2.45		
							2.45	90	20	10								3	3.15	
4				ローム	茶 褐	上部は非常に軟弱 柔らかい 下部砂分混入	3.15	1	1									4	3.75	
							3.75	60	60									4	4.15	
5	95.14	4.60	1.50				4.15	4	1	2	1							5	4.45	
							4.45	80	10	15	5							5	5.15	
6				砂 礫	灰 褐	上部粗粒砂が多い 礫径30~50%が主	5.15	50	18	18	14							6	5.42	
							5.42	27	10	10	7							6	6.15	
7	92.34	6.90	2.30			所々に玉石径100~150% を点在する	6.15	50	27	23								7	6.84	
				砂	灰 褐	粗粒砂が主体	6.84	19	10	9								7	7.15	
	92.24	7.50	0.60				7.15	10	2	3	5							7	7.45	
8							7.45	30	10	10	10							8	8.15	
							8.15	50	28	22								8	8.84	
9						礫径50%前後が主体で 所々に玉石径100~150% を点在する	8.84	19	10	9								9	9.15	
							9.15	50	21	29								9	9.33	
10						10m付近まで粗粒砂が多 く、それ以降は細粒土主 体のマトリクスとなる。	9.33	18	10	8								10	10.15	
							10.15	50	13	22	15							10	10.89	
11							10.89	24	10	10	4							11	11.15	
							11.15	47	18	15	14							11	11.45	
12						12m付近は礫が少なくな っている	11.45	80	10	10	10							12	12.15	
							12.15	38	11	11	11							12	12.45	
13				砂 礫	灰 褐	全体に密に締っている	12.45	30	10	10	10							13	13.15	
							13.15	50	25	25								13	13.33	
14						玉石が比較的多くみられ る	13.33	18	10	8								14	14.15	
							14.15	50	50									14	14.20	
15						14.5m付近で逸水	14.20	5	5									15	15.15	
							15.15	50	30	20								15	15.34	
16							15.34	19	10	9								16	16.15	
							16.15	50	26	24								16	16.84	
17						17.5m付近より玉石が少 なくなる	16.84	19	10	9								17	17.15	
							17.15	50	24	26								17	17.33	
18							17.33	18	10	9								18	18.15	
							18.15	50	50									18	18.23	
19	80.74	19.00	(11.5)				18.23	8	8									19	19.15	
							19.15	50	50									19	19.20	
20							19.20	5	5											
21																				
22																				
23																				
24																				
25																				
26																				
27																				
28																				
29																				
30																				

備 考:

試料採取方法の記号

- シンウォールサンプラー
- 貫入試験用サンプラー

- ⊙ デニソン型サンプラー
- ⊕ フォイルサンプラー
- × そ の 他

土 質 柱 状 図

報 告 用 紙

調査名・調査地点 栃木県庁センター(仮称)新築工事に伴う地質調査

標 高 KBMを10000mとする。
99.89m

調査年月日 58年 6月 日 ~ 58年 6月 日

ボーリング孔: No. 5孔 (調査深度 1200m)

孔内水位 GL-6.10m

調査担当者

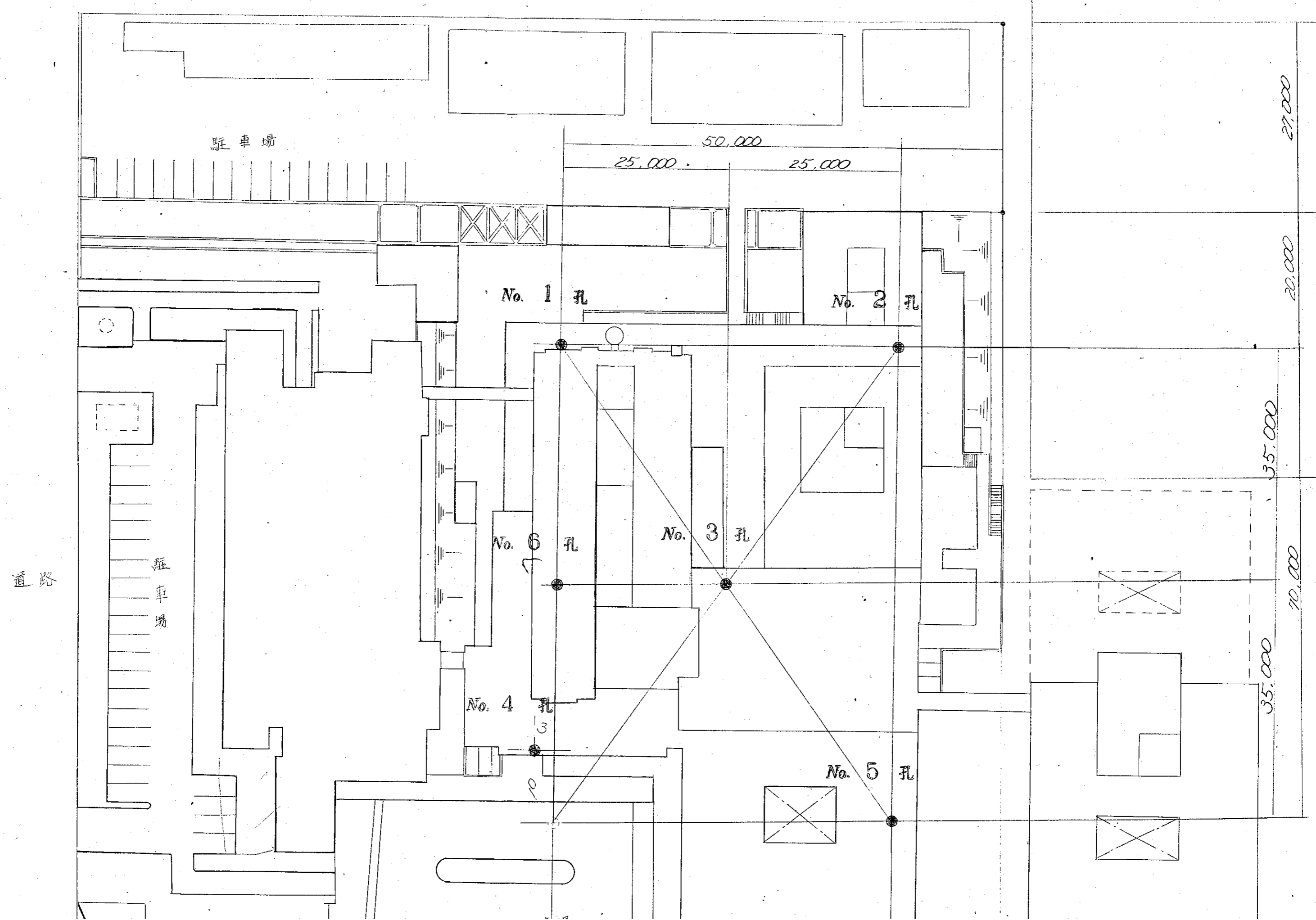
標 尺 m	標 高 m	深 さ m	層 厚 m	現 場 観 察 記 録			標 準 貫 入 試 験						試 料 採 取								
				土質記号	土質名	色調	記 事	深 さ m	打撃 回数 貫入量 cm	10cmごとの 打撃回数			N 値						試料 番号	深 さ m	採 取 方 法
										10 cm	20 cm	30 cm	0	10	20	30	40	50			
	99.19	0.70	0.70	表土(シルト)	黒	腐植物含む	1.15	8	1	1	1							1	1.15	標準貫入試験用サンプル	
1				ローム	茶褐	柔らかい均質	1.45	30	10	10	10							2	1.45		
2	97.89	2.00	1.80	軽石	黄褐	φ2~8%の軽石粒が主体 非常に柔らかい	2.15	2	1	1								8	2.15		
3	96.79	8.10	1.10				2.60	45	45									8	2.60		
4				ローム	茶褐	非常に柔らかい 所々浮石混る 含水上位 下部砂分混入	3.15	1	1									4	3.15		
5							3.60	45	45									4	3.60		
6	94.59	5.80	2.20	砂	灰茶褐	小礫混入 粗砂主体、締る	4.15	8	1	1	1							5	4.15		
7							4.45	30	10	10	10							5	4.45		
8							5.15	14	8	5	6							6	5.15		
9							5.45	30	10	10	10							6	5.45		
10	93.40	6.40	1.10				6.15	24	5	11	8							7	6.15		
11							6.45	30	10	10	10							7	6.45		
12							7.15	50	16	19	15							8	7.15		
13							7.44	29	10	10	9							8	7.44		
14							8.15	29	11	8	10							8	8.15		
15							8.45	30	10	10	10							8	8.45		
16							9.15	50	50									9	9.15		
17							9.25	10	10									9	9.25		
18							10.15	40	12	12	16							10	10.15		
19							10.45	30	10	10	10							10	10.45		
20							11.15	50	15	23	12							11	11.15		
21							11.39	24	10	10	4							11	11.39		
22							12.15	50	22	25	3							12	12.15		
23							12.36	21	10	10	1							12	12.36		

備 考:

試料採取方法の記号

- シンウォールサンプラー
- 貫入試験用サンプラー

- デニソン型サンプラー
- ⊕ フォイルサンプラー
- × その他



平面図 S = 1:500

想定地層

